

防災教育出前講座

—平成26年9月10日 白河市
白河第二中学校で実施—

白河市教育委員会の出前講座が白河第二中学校で催され、「防災」についての講義を、県南建設事務所の職員が行いました。

学校から要望のあった6つの講義の1つとして「ふるさと安全たんけんスクール」のタイトルで、スライドや防災模型を用いて、自然災害、特に土砂災害の「怖さ」、「防災への取り組み」、「身を守る考え方」についての講義を行いました。

白河市は過去に大きな水害が有り、近年の東日本大震災、つい先日の広島の土砂災害も有り、真剣な表情で講義を聴いていました。

最後に、白河市が配布している「防災マニュアル」を、各自が家で確認することを約束し、1時間半の講義を終了しました。



17名の生徒さんが受講されました



災害が起きたときにどうするか

- まず自分の身を守る
- 安全を確認してから火を消す
- 垂れ下がった電線などには近づかない
- 光しがでたらすぐに避難する
- 避難する場合はできるだけ明るいうちにする
- 家または隣近所でもまって避難する
- 水の流れているところは渡らない
- 避難勧告、指示等の情報を集めて避難する

すぐに避難所に行けない場合は

- 建物が斜面に近い場合は、斜面から離れた部屋に移る。→水平移動
- 建物の上方（2階、3階等）に避難し、水や土砂から逃れる。→垂直移動
- 雨がやんだら安全な場所へ

一瞬の判断で命が助かることも

その他

災害が起きたときに大切なこと

災害が起きたすぐあとは、自分たちで対応する

↓

みんなで協力しあって助け合う

消防や自衛隊が来るまでには時間がかかる

土石流対策模型を実際に操作



家族で話し合うこと

- 家族の無事を確認する方法や連絡方法
- 災害用伝言ダイヤル(171)を使う
- 災害が起きたときや避難するときのこと
- ガス、電気を止めることや、家の鍵をかけること
- お年寄りなどの世話をすることなど
- 避難場所や避難のしかた 集合場所

まとめ

災害は、いつでも、どこでも、誰にでもやってくる

普段からの備えと、みんなで協力し、助け合うこと大切



Future From Fukushima.

県南建設事務所

Tel 0248-23-1633

Fax 0248-23-1504